

津波避難3原則 ①想定にとられない②命を守るために最善を尽くす③周りが逃げなくても逃げる

入学 おめでとう！！

4月13日（土）に入学式を行いました。平成31年（令和元年）第22期の新入生竹中康夫さん、久保田良弘さん、大江早苗さん、畠中奈智子さん、畑中フクエさんの5名と復学の森芳美さんで耐久大学は全校72名でスタートします。午前中の教養講座・午後の専科活動や行事を通して、いろんな人と関わり合いながら楽しく豊かに学んでいきましょう。



さんで耐久大学は全校72名でスタートします。午前中の教養講座・午後の専科活動や行事を通して、いろんな人と関わり合いながら楽しく豊かに学んでいきましょう。



祝 辞

来賓の松林教育長さんからは、平成と令和のことや日本のコミュニティーが崩壊しつつあることなどを交え、お祝いのメッセージをいただきました。また、西岡町長や檜原町議会議長からも祝電をいただきました。

ありがとうございました。



タブラのひととき 演奏 大辻 宰さん

「ナマステ」の挨拶で始まった入学式後のアトラクション。インドの太鼓『タブラ』の演奏を聴かせていただきました。タブラは高音が木の胴で低音は金属の胴でできています。指先や手のひらなど使いながら、テンポのよいリズムカルな部分やなめらかな感じが入り交じり聞いていると心地よくなる演奏でした。新しい発見のひとときでした。

耐久大学の一日

耐久大学の学習日の朝、当番専科で受付や出席確認を行っています。玄関では「おはようございます！」や「今月も元気」の声が響いています。

始業時間になると、朝の会が始まり「本日の予定」

「学長のお話」「ストレッチタイム」。そして第1講座の始まりです。



5月最初の講座は、有田市立病院の管理栄養士の伊藤小百合氏から「糖尿病予防、改善のための食事」という演題、そして、第2講座は垣由起氏から「遺族年金の仕組みと生活のあり方」という演題でお話を伺いました。《詳しい内容は6月の回覧でお知らせします》



昼休憩を挟んで、午後は専科活動です。耐久大学の専科活動は、郷土専科、書道専科、切り絵専科、パソコン専科、グラウンドゴルフ専科、川柳専科、コーラス専科、絵手紙専科の8専科で活動しています。

今回いくつかの専科を紹介します。



グラウンドゴルフ専科



グラウンドゴルフ専科は、広小学校のグラウンドを使ってプレーしています。ボールを打ったとき「コーン」という心地よい音。一打目で入るホールインワンの時「まぐれまぐれ」といいながらのすばらしい笑顔。会話を楽しみながら、⑧ホールを2回3回と周りとってもいい運動になっているようでした。暑いときも寒いときも元気に楽しんでいます。

コーラス専科

コーラス専科では、身体をリラックスさせてから発声練習。おなかに力を入れ、呼吸法も含めてとってもいい声が響いています。その後は、曲の練習を行っていました。しっかり声を出すためか専科が終わった後はスッキリしたいい顔になっていました。また、年に何度か発表の機会もあり目標を持って取り組まれていました。

郷土専科



今月の郷土専科は、安楽寺で安楽寺の成り立ちから、濱口家との関わりも含めてお話を伺いました。広川町にいながら、知らなかったことがたくさんあり、新しい発見ができました。

*専科活動を終え、14時30分に下校となります。これが耐久大学の一日です。